

2021年度 新人看護師教育プログラム

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
個人目標	基本的進行	・1日の自分の行う看護業務を把握できる	・指導を受けながら休日の看護業務ができる	・指導を受けながら、スケジュール変更に対応できる ・指導を受けながら、遅出業務ができる	・指導を受けながら、受持ち患者の入院時の情報収集ができる	・指導を受けながら受持ち患者の退院準備ができる ・夜勤業務に備え、シャド―夜勤を始める	・指導を受けながら、受持ち患者の指示受けができる ・夜勤業務ができる	・指導を受けながら、スケジュール以外の夜勤業務ができる	・看護過程展開上の考えを持ち、相談ができる	指導を受けながら、受持ち患者の全体像を捉え、看護展開できる	・実践上で、未到達技術を振り返り、2年目に向けて取り組める ・1年間の看護姿勢を振り返り、2年目の課題に取り組める			
	行動目標	・職場の環境に慣れる ・日勤の流れを理解できる ・実施指導者と共に、担当患者の基礎看護技術を安全に実施できる	・指導を受けながら担当患者(重症患者以外)の基礎看護技術を安全に実施できる ・指導を受けながら休日勤務業務ができる	・指導を受けながら予約入院患者の対応ができる ・指導を受けながら、スケジュール以外の業務に対応できる	・指導を受けながら、重症患者の対応の経験ができる ・指導を受けながら、急変時の対応の経験ができる		7月からの目標の継続	・6か月を振り返り、自らの課題を考えることができる	・チームメンバーとしての自分の役割を果たすことができる		・未経験の技術や処置を主体的に経験してゆることができる			・2年目に向け、自らの課題を考えることができる
	社会人として	・社会人として自身の行動について責任をもつことができる ・時間を守って行動できる ・敬語を使い、誠実な対応ができる	・必要な報告ができる	・職場に適応できる ・変則勤務の時間管理ができる			・シャド―夜勤により夜勤業務の流れがわかる(※個々の成長に応じ適時時期の調整をする)	・優先順位を考えながら業務配分ができる						・2年目看護師になる自覚を持つことができる
集合教育	〔院内研修の目的〕 チームの一員としての役割を担うための基礎的技術を身につける													
	院内看護研修	オリエンテーション(看護部) ・報告・連絡・相談 ・採血・静脈注射・筋肉/皮下注射・血糖測定・導尿/膀胱留置・与薬・喀痰吸引 ・スタンダードプリコーション ・電子カルテ操作 ・看護必要度初級編 ・看護記録の書き方 ・コミュニケーション技法	・褥瘡処置・ポジショニング ・食事介助・口腔ケア(4/30)	・医療安全(5/7) ・心電図モニター ・輸液ポンプ・シリンジポンプ(5/28)	・多重課題への対応 ・フィジカルアセスメント ・救急時の看護 ・エンゼルケア ・I-SBARC的確な報告(6/25)	・人工呼吸器の管理と看護 ・12誘導心電図装着(7/30) ・入院患者の受け入れ(7/2)				・看護診断とは ・看護計画の立案と評価(11/26)		・外来から退院支援につながる研修(1~2月)		・1年間を振り返り、2年目課題への取組
	院外看護研修	「専門職としての自覚を持ち前向きになる活力をつけよう」		「社会人基礎力を身につけよう」 「気持ちよく仕事ができるコミュニケーション」	「看護に活かすフィジカルアセスメント”呼吸・循環”」	「医療安全対策・感染予防の知識と技術」	「急変時の対応」		「看護職に必要な倫理の基礎知識」					
	プリセプター会議	プリセプター会議	プリセプター会議	プリセプター会議			プリセプター会議					(必要時、プリセプター会議)		
OJT		・病棟オリエンテーション ・日勤業務について ・固定チームナースと担当看護師の役割	・遅出業務について(回復リハ病棟)	・入院時のケア ・退院時のケア ★技術チェックリスト確認	・チーム患者に対し、日々の受け持ち看護師の役割を果たす		★技術チェックリスト確認		・受け持ち看護師の役割をとる ・遅出業務について(一般病棟)				★技術チェックリスト確認	